

三島有紀子監督

とうや湖観光大使就任



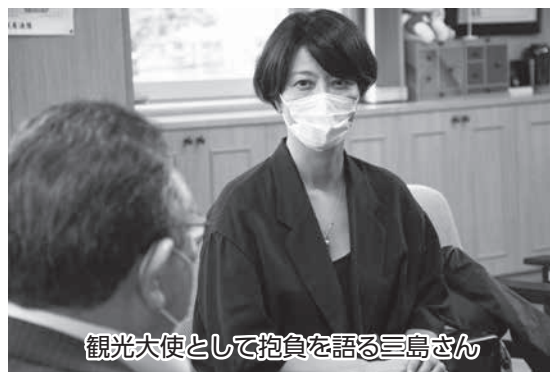
委嘱状を受け取った三島さん

映画監督の三島有紀子さんが、とうや湖観光大使に委嘱されました。三島さんは、洞爺湖を舞台にした映画「しあわせのパン」(2012年公開)を撮影。以来、町を毎年訪れてイベントに参加したり、湖畔での時間を楽しんでいます。

役場町長室で委嘱状交付式が行われ、真屋町長から委嘱状を受け取った三島さんは「観光大使として洞爺湖をアピールし、知らない人にも来てもらいたいです」と抱負を語りました。

かつて阪神淡路大震災の被災地取材し、限りある物資や避難所のスペースを分け合う被災者を目の当たりにして「生きることはシェア(分け合う)すること」と感じた三島さん。この経験がきっかけとなり、しあわせのパンでは作品のテーマとして取り上げました。

洞爺湖を初めて訪れたのは、しあわせのパンのロケ地を探して道内各地を旅していた途中。月浦地区の坂道から湖を一望し「はっとするほど美しかった」と振り返ります。人々と自然、多様な動植物が共存する洞爺湖を前にして「シェアを視覚的に表現できる場所だと感じました」。映画は主演に大泉洋さん、原田知世さんを迎えて人々のつながりを温かく映し出し、好評を博しました。

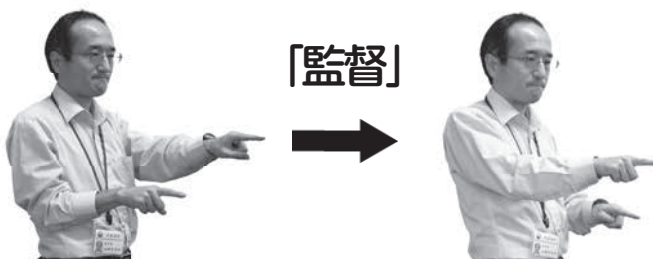


観光大使として抱負を語る三島さん

上映後も足しげく町を訪れ、お祭りに参加したり、しあわせのパンの朗読劇を開いている三島さん。洞爺湖町を「第2の故郷」と呼び、愛着は人一倍です。洞爺湖は「物事をシンプルに考えることができ、自分にとって一番大切なものが見えてくる場所。住む人も良さを再発見し、誇りに思っている」と話していました。

ワンポイント手話

毎月、職員が今月の手話を紹介します。
第37回目は令和3年度採用の総務課飯村直樹です。
■問合せ 健康福祉課福祉・高齢者グループ (☎ 74-3001)



両手の人差し指を伸ばして、交互に左右斜め前に出します。